

様式第1号（第6条関係）

令和元年12月31日

伊勢崎市議会議長 新井 智 様

会派名 伊勢崎市議会 いせさき未来  
代表者 会長 馬庭 充裕

令和元年度政務活動費支出状況報告書（第3四半期）

伊勢崎市議会政務活動費の交付に関する条例第6条の規定により、次のとおり令和元年度第3四半期（10月から12月まで）の政務活動費支出状況を報告します。

1 支出状況

（単位：円）

| 科 目      | 今期支出額   | 左のうち、<br>今期概算払受領済額 | 備考      |
|----------|---------|--------------------|---------|
| 調査研究費    |         |                    |         |
| 研修・会議費   | 71,880  | 71,880             | 第1回概算払分 |
| 資料作成費    |         |                    |         |
| 資料購入費    | 10,050  |                    |         |
| 広報広聴費    | 51,290  |                    |         |
| 要請・陳情活動費 |         |                    |         |
| 人件費      |         |                    |         |
| 事務所費     |         |                    |         |
| 合 計      | 133,220 | 71,880             |         |

2 交付限度額 420,000 円

3 既交付額 128,432 円

4 今期請求額 61,340 円

5 未交付額 230,228 円

6添付書類

- (1) 領収書
- (2) 視察等報告書
- (3) 会計帳簿の写し
- (4) その他政務活動費の支出に係る証拠書類



令和元年度 政務活動費会計帳簿

|       |         |
|-------|---------|
| 交付限度額 | 420,000 |
| 既交付額  | 128,432 |
| 支出額計  | 189,772 |

会派名：いせさき未来

| 整理番号 | 日付    | 科目     | 内 容                               | 収 入    | 支 出    | 差 引     |
|------|-------|--------|-----------------------------------|--------|--------|---------|
| 1    | 4/25  | 資料購入費  | 上毛新聞4月分                           |        | 3,350  | -3,350  |
| 2    | 5/25  | 資料購入費  | 上毛新聞5月分                           |        | 3,350  | -6,700  |
| 3    | 6/17  | 事務所費   | プリンターインク                          |        | 5,413  | -12,113 |
| 4    | 6/25  | 資料購入費  | 上毛新聞6月分                           |        | 3,350  | -15,463 |
| 5    | 6/30  | 事務所費   | ウイルスバスター3年サポート1年分                 |        | 2,521  | -17,984 |
| 6    | 7/4   | 資料購入費  | 図書購入(障害のある子が将来にわたって受けられるサービスのすべて) |        | 1,620  | -19,604 |
| 7    | 7/6   | 資料購入費  | 図書購入(学校の「当たり前」をやめた。)              |        | 1,944  | -21,548 |
| 8    | 7/10  | 広報広聴費  | いせさき未来会報第5号(4,500部)               |        | 23,010 | -44,558 |
| 9    | 7/25  |        | 第一四半期分入金                          | 17,984 |        | -26,574 |
| 10   | 7/25  | 資料購入費  | 上毛新聞7月分                           |        | 3,350  | -29,924 |
| 11   | 8/25  | 資料購入費  | 上毛新聞8月分                           |        | 3,350  | -33,274 |
| 12   | 9/10  | 資料購入費  | 図書購入(なぜ、彼らは「お役所仕事」を変えられたのか?)      |        | 1,944  | -35,218 |
| 13   | 9/25  | 資料購入費  | 上毛新聞9月分                           |        | 3,350  | -38,568 |
| 14   | 10/10 |        | 第1回概算払入金(公共施設マネジメントと公会計改革IN東京)    | 72,200 |        | 33,632  |
| 15   | 10/18 |        | 第二四半期分入金                          | 38,568 |        | 72,200  |
| 16   | 10/18 | 研修・会議費 | 公共施設マネジメントと公会計改革IN東京(10/17~10/18) |        | 71,880 | 320     |
| 17   | 10/25 | 広報広聴費  | いせさき未来会報第6号(4,500部)及びコンビニ手数料      |        | 23,280 | -22,960 |
| 18   | 10/25 | 資料購入費  | 上毛新聞10月分                          |        | 3,350  | -26,310 |
| 19   | 11/5  |        | 第1回概算払精算による戻入                     | -320   |        | -26,630 |
| 20   | 11/25 | 資料購入費  | 上毛新聞11月分                          |        | 3,350  | -29,980 |
| 21   | 12/25 | 資料購入費  | 上毛新聞12月分                          |        | 3,350  | -33,330 |
| 22   | 12/28 | 広報広聴費  | いせさき未来会報第7号(4,500部)               |        | 28,010 | -61,340 |
| 23   |       |        |                                   |        |        |         |
| 24   |       |        |                                   |        |        |         |
| 25   |       |        |                                   |        |        |         |

令和元年度政務活動費領収書等貼付用紙

整理番号

16

|        |   |                    |                     |
|--------|---|--------------------|---------------------|
| 会派名    | いせさき未来  | 議員氏名               | 馬庭 充裕               |
| 支出年月日  | 令和元年10月18日(第3四半期)                                     | 支出額                | 71,880 円            |
| 按分した場合 | (金額) 円 × (按分率) % = 円                                  |                    |                     |
| 使途区分   | 1. 調査研究費 ② 研修会議費<br>5. 広報広聴費 6. 要請・陳情活動費              | 3. 資料作成費<br>7. 人件費 | 4. 資料購入費<br>8. 事務所費 |
| 備考     | 公共施設マネジメントと公会計改革IN東京(10/17~10/18)<br>参加負担金、宿泊代及び高速バス代 |                    |                     |

◎貼付欄 (領収書等は、重なりや折れがないように貼付する。)

領 収 証

伊勢崎市議会  
いせさき未来

様 2019年10月17日

★ ¥60,000

但 10/17.18 「公共施設マネジメントと公会計改革」  
4講座 研修会受講代として

上記正に領收いたしました

一般社団法人地方議員研究会  
〒532-0004  
大阪市淀川区西宮原2丁目6-16-639  
TEL 06(7878)6297



## RECEIPT

021236-DP

## 領収書

another

an/other TOKYO

〒104-0031 東京都中央区京橋2-5-4  
2-5-4 Kyobashi, Chuo-ku, Tokyo 104-0031  
TEL : 03-3561-0254

1/1

|               |                |   |
|---------------|----------------|---|
| 部屋番号 ROOM No. | お名前 NAME       | ご人数 PERSONS                               |
| 820           | いせさき未来         | Mr. Ms.<br>様 1                            |
| ご到着日 ARRIVAL  | ご出発日 DEPARTURE | 備考 REMARKS                                |
| 10/17         | 10/18          | 発行日時 DAY TIME ISSUED<br>19/10/17 16:57:40 |

| 日付<br>DATE | 部屋番号<br>ROOM No. | ご利用明細<br>EXPLANATION | ご利用金額<br>AMOUNT | お預り金額<br>PAYMENT | 備考<br>REMARKS |
|------------|------------------|----------------------|-----------------|------------------|---------------|
| 10/17      |                  | ご宿泊料                 | 8,520           |                  | @ 8,520×1     |
|            |                  | 10%対象<br>消費税         | ¥8,520<br>¥774  |                  |               |

会社名

FIRM

ご住所  
ADDRESSご署名  
SIGNATUREご利用金額  
AMOUNT内消費税  
TAXお預り金  
PAYMENTご請求額  
BALANCE

8,520

774

0

8,520 001

収入印紙

ありがとうございました。またのご利用をお待ち申し上げます。

Thank you very much. We look forward to seeing you again.

※印がついている商品は軽減税率対象となります。

# 政務活動費領収書等貼付用紙（続紙）

◎貼付欄（領収書等は、重なりや折れがないように貼付する。） 整理番号 16



## 領収書

いせさき未来 様

■ご購入日

2019年10月18日

■ご利用金額

¥1,680

B

■ご購入商品

乗車券

新宿高速バスターミナル株式会社

渋谷区千駄ヶ谷五丁目24番55号

バスタ新宿券売機 6号機

2019年10月18日 19:50

令和元年10月24日

視察等報告書

整理番号

16

|                      |                              |       |       |
|----------------------|------------------------------|-------|-------|
| 会派名                  | いせさき未来                       | 報告者氏名 | 馬庭 充裕 |
| 日 時                  | 令和元年10月17日（木）～18日（金）         |       |       |
| 事 項                  | 公共施設マネジメントと公会計改革IN東京         |       |       |
| 場 所                  | TKP東京駅八重洲カンファレンスセンター（東京都中央区） |       |       |
| 参加者氏名                | 馬庭 充裕                        |       |       |
| (目的・理由・内容)<br>別紙のとおり |                              |       |       |
| (成果・所感)<br>別紙のとおり    |                              |       |       |

※ (目的・理由・内容) 及び (成果・所感) は別途報告様式に替えることができる。  
なお、(成果・所感) は、参加者全員が記入する。

視察等報告書

整理番号

会派名：いせさき未来 報告者氏名：馬庭 充裕

日時：令和元年 10月 17日～18日

事項：公共施設マネジメントと公会計改革 in 東京

場所：TKP 東京駅八重洲カンファレンスセンター（中央区京橋 1・7・1 戸田ビルディング）

参加者氏名：馬庭 充裕

（目的）

地方自治体の財政は危機的な状況にあり、伊勢崎市も例外ではない。公共施設マネジメント・指定管理者制度・公会計制度を学び今後の自治体経営の参考とするため。

（日程）

10/17

- ◆講座「財政問題としての公共施設マネジメント」
- ◆講座「公共施設マネジメントから始まる本格的行政改革」

10/18

- ◆講座「指定管理者制度で稼ぐ施設の実現」
- ◆講座「公会計改革による自治体経営」

講師：全講義とも南学氏（東洋大学経済学研究科公民連携専攻客員教授）

（各内容）

- ◆講座「財政問題としての公共施設マネジメント」

- ・公共施設等総合管理計画が生み出したもの

ほぼ全自治体が財源不足という課題を認識したが、大半は面積削減をしなければという結論におちいった。  
総合管理計画後に個別施設計画に進んだが、この縦割りの計画では公共施設統廃合を進める事は難しい。

- ・個別施設計画に対応する必要はあるか？

総務省は適債性を満たすことを要求しているのであって、地方債以外の資金調達の充てがあれば本来は不要とも言える。よって更新対象施設を選定し、当面は1～2年の計画を作り、他施設はその後の検討とする事が現実的な方法である。

- ・地方債を不要とする資金調達手段 PFI・リース

地方債は手続きに慣れた方法であるが、PFI・リースも優れた方法。国は、PFI/PPP の検討を優先する方針である。

- ・高浜市はリース形式で本庁舎建設

高浜市役所本庁舎整備事業は整備コストや将来の維持管理コストの低減を図るとともに、行政を取り巻く環境変化への対応や施設の有効活用を実現するために、保有形態の見直しによる賃借やリース等も視野に入れ

た事業者のノウハウを最大限活用する新たな事業方式の提案を求め、20年のリース形式で本庁舎建築した。

- ・今後の公共施設運営で見るべき事

①どれだけコストカットできるか、②どれだけ収入を上げられるか、③どれだけ利用率を上げられるか。

- ・公務員のリスクとして公共施設管理上の業務上過失が問われる。

ふじみ野市の市民プールにおける児童死亡事故では、当時担当の公園管理課長・係長の最高裁における禁固刑が確定した。施設所有者は、業務上、観客等の安全を確保できる施設を提供する責務を負う。不備のある施設を開設してはいけないのである。

- ・予算決算の分析には公会計改革との結合が必要

自治体の事業別予算書には減価償却費と人件費が欠けている。固定資産台帳を整備し、設備の減価償却の組み込みで老朽化の判定を行う。

- ・公共施設マネジメントの方程式は

単純な面積圧縮ではなく、縮充（縮小して充実させる）を。課題である財源確保のためには、総面積の統廃合（これは後）+民営化（経費圧縮とかせぐ公共施設）+受益者負担増+遊休資産活用で行う。

### ◆講座「公共施設マネジメントから始まる本格的行政改革」

- ・学校施設を稼働率で見ると稼働時間は非常に少ない

学校は年に10ヶ月(80%)使い、うち週に5日間(70%)使い、うち1日に7時間(30%)使う。したがって、 $0.8 \times 0.7 \times 0.3 = 0.168$ (16.8%)。最大稼働時間の16%しか利用していないともいえる。特に屋外プールは3週間程度しか使われない施設である。公共施設の半分は学校であり、本来小学校を上手く活用すれば公民館は不要になる。学校のセキュリティとして、教室と職員室は万全なセキュリティを取り。例として、土日・長期休暇時にはカルチャースクール・スポーツで開放(イギリス)。中学校体育館を市民体育館として利用、総合型スポーツクラブが運営(愛知県半田市成岩中学校)など。

- ・小学校プールのコスト

年平均で児童が3回しかプールに入らないケースも多い。プールの新設や大規模改修で2億の初期コストがかかった時に40年使えば年間500万円、毎年の水道・衛生費に150万円。児童一人1万5千円、3回ならば1回1時間のプールコストは5千円。

- ・図書館の役割を考える

公立図書館の利用者は地域住民の1割程度にすぎなく、利用していない約9割の市民が経費を負担している。一人当たり貸出冊数は意味がない?⇒貸出登録率は20%程度、年に1回以上の利用はその半分、年30回以上の利用者は0.1%、よって貸出冊数よりも入館者数で評価すべきでは。

- ・身近なスポーツは公民館

人気のヨガ、社交ダンス、フラダンス、卓球は公民館の方が利便性高い。大型体育館はイベント開催が主で、特定団体の利用が主(かつ自主事業は1割程度)。

#### ・災害の備えから考える学校体育館

海外と比較しても避難所となる学校体育館の状況は充実していない。ただ床しかなく、場合によってはトイレも学校へ移動するような悲惨な避難所が多い。更衣室、シャワー室、トイレ、ラウンジがあれば避難所として機能する。総合型地域スポーツクラブとの連携は可能である（例：愛知県半田市、成岩中学校体育館）。

#### ・子育て支援の充実が伝わるまち

中核市の新生児は毎年、約2~3千人、0~2歳児約6~9千人の約半数は家庭内保育。この家庭内保育のママの場所の存在が重要であるが、現状ほんどの市では読み聞かせや健康センターイベントで、あっても週2回、行きつく所は公園やショッピングセンターしかしなく公共施設は（結果的に）育児ママを拒否している現状である。いつでも、いつまでも滞在しても良く、サポートがあるママ友の場があれば、年間数百人の人口増につながる。

#### ・集いの拠点の例

①大和市「文化創造拠点シリウス」図書館、芸術文化ホール、生涯学習センター、屋内こども広場の複合施設。開館から1年で来館者300万人突破（大和市人口23万人）。②武蔵野市「武蔵野プレイス」図書館、生涯学習センター、市民活動センター、青少年センター（大人の利用不可）の複合施設。開館から6年で来館者1000万人突破（武蔵野市人口14万7千人）。

#### ・公共施設に場所が必要な市民層

0~2歳児の子育てママ友、部活動に属していない中高生、65歳以上の年金生活男性。これらの層の場所があればコミュニティの形成につながる。

#### ・大阪城の資産活用

指定管理料はマイナス3億円。それに加え指定管理者から大阪市に収益の7%（3500万円程度）が入る。指定管理者は店舗などの整備に6~70億かけて、大阪市に寄付するが、それでも20年で30億の収益が上がる。大阪城は強力な観光資源という事を差し引いても、公共施設で稼ぐという視点は必要。

#### ・愛知県高浜市のリース方式市庁舎

市役所本庁舎を建築するのに減価償却期間20年として33億円かかると見込まれ、この金額以下で建築出来る提案を民間から募集した。大和リースの31億円の案が採択。高浜市は31億円を20で割った額を毎年支払うリース方式で市庁舎を建築。このメリットは多く、10年後・20年後の縮小・拡大・転用に対応出来るのみでなく、制度設計から民間が行う事で役所で行うよりも半分の工期で済む、これは数億円分の人件費に相当。

#### ・地方債管理の矛盾

地方債を充当する時にはプロジェクトファイナンス（担当原課が担当）なのに一度地方債により支払いが済めば、コーポレートファイナンス（償還は財政課がしていく）になる。だから責任が薄くなるのである。

#### ・従来方式とリースの組み合わせ（日本型実質BOT方式）

学校を「コア施設（職員室と教室）」と「終日稼働・転用可能施設」に分類。コア施設部分は従来型の補助金や地方債で建設し、転用可能施設は民間資金で建設。転用可能施設は学校施設でなければいけないとはどこにも書かれていません。学校の場合は体育館・音楽室・図書室・プールなどの開放が考えらえる。音楽室の収益は都市部だと年間100万円にもなるが、この半分でも学校運営に配布とすればどれほど喜ばれるか。

- ・サウンディング手法を用いて入札原則の見直しを

大阪城公園 PMO 事業は事業公募の前年にサウンディング調査を実施し、民間事業者に自由に提案をしてもらい、実現可能性を探ることから始めた。公開原則を徹底することで、指定管理の業務内容や範囲、期間などを詳細に決める必要もなく、気楽に実施してその結果を公募に反映させ、公の施設は最大限に活用できる可能性が広がる。

#### ◆講座「指定管理者制度で稼ぐ施設の実現」

- ・地方自治体における改革とはなんだったのか

現業部門の民営化、スマーレビュー方式、サンセット方式、定数管理方式、事務事業評価、行政改革大綱、指定管理者制度、事業仕分け、公共施設等総合管理計画など行われたが、結果は単なる「削減」だった。

- ・公務員問題

非正規職員が 3 分の 1 となっている。法律・経済・政策に精通した職員が必要。一律削減は福祉部門の職員不足を引き起こしてしまった。保育所の子どもの割り当ては自治体によっては 1 週間など非常に時間がかかる仕事だが、過去データに基づいて AI が処理を行うと半日で済む。自治体の組織の問題はこうした事を企画出来る人材配置が出来ていない事である。

- ・地方自治法の規定されている指定管理者の部分

第二百四十四条の二にしか規定されていない。しかし、指定管理者も担当課の職員両者ともほとんど読んでいない。だから、施設を全般的に管理するものと思い込んでいるケースが多い。第二百四十四条の二の 1~3 項 ⇒ 指定管理者の件を条例に明記する事。4 項 ⇒ 指定管理者の基準や業務範囲を定める事（詳細は協定書や別表が多い）。5 項 ⇒ 指定管理は単年度ではなく複数年度の管理が原則という事。8 項 ⇒ この利用料金の規定がこれから指定管理者制度において自治体が稼ぐ事が出来る部分である。施設本体と設備の管理責任は自治体にある。その他の点検・維持は指定管理者。

- ・指定管理者制度で稼ぐ施設

静岡県掛川市（掛川城）。市の関与を最小限とした「経営できる環境づくり」では業務要求水準を設定（利用者数など）し、これを満たす提案を求めた。開始後 7 年間で入場者数を 2 倍（20 万人）、施設管理費 6,200 万円を、3 年後に独立採算に移行、指定管理料 3,100 万円を 3 年目にゼロにする、営業利益の 1,400 万円を市民が利用できる便益施設への投資で還元を掲げ、独立採算を達成。これには、滞在時間を延ばすために年中無休、開館時間延長、周辺施設との共通パスポート券、懐石料理・ランチバイキング、掛川城ウェディング、掛川城コンシェルジュ、音声案内（多国語）、特産品販売、レンタサイクル、日本伝統文化交流・教室、観光会社のツアー連携によるホテル回転率向上などの取り組みを実施したからである。

#### ◆講座「公会計改革による自治体経営」

- ・自治体における決算

資産としてどれぐらい積み上げてきたのかを問うので、単年度黒字赤字は重要ではない。リーマンショックや東日本大震災で地価が下がったといえど、大都市の商業地では資産が生まれつつある（土地）。その資産を現金に変える事がようやく役所でも話題になっている。予算が重視される一方、企業では投資家の存在があるため決算が最大の関心事項になっている。

- ・終期設定の必要性

庁舎建設のスタートは総務課（企画課）。それ以後は財政課が一括して返却していく。計画時はプロジェクトファイナンスで返却開始後はコーポレートファイナンス（＊上記した）。PFIにおいても次年度からは委託費を計上するだけで、適切な運営化どうかの議論から外れてしまう。だから終期設定を行う必要がある！これは、マンションが長期修繕計画を立てるよう保育所を何年使おうかと前もって検討する事である。それにはLCC（ライフサイクルコスト）分析が必要となるが、これをどうやって計算するかの手法が分からぬのが現状。

- ・町田市は官庁会計と複式簿記を比較

清掃工場の設備更新において、本来は設備投資を行い減価償却費計上が有利であっても起債する事が困難で、増え続けるとしても単年度の維持補修費を捻出する事で対応していた。20年一億円の設備投資をし、これの減価償却費500万と利子200万を計上すれば、1億円の負債は貸借対照表にのり、公債費の見える化へ。

- ・民間委託＝安くなると思ひこまない

ゴミ収集、学校給食、電話交換、守衛、ホームヘルパー、在宅入浴サービス、老人福祉センター、体育スポーツ施設、文化施設等において、直営から民間委託するとおよそ50～70%の費用となる。その主な理由は継続して仕事がない業務にフルタイムの正規職員があてられている事と単純労働に正規職員が充てられているからである。

ただし、自校方式の小規模小学校における給食、システム開発やメンテナンスなどの専門的業務、カルテルを結ばれたら対抗できないゴミ収集運搬などは民間委託が高くなるケースもある。

- ・2つのメニューから検討する

秦野市は資産に注目。市役所の駐車台数に余裕がある事からコンビニを誘致し、収益を統廃合のため積み立てた。自動販売機は①目的外使用を許可するが災害時には提供、②貸付け⇒契約行為・入札のどちらのメニューを選択するのか決めよう。

#### （成果・所感）

単に公共施設を削減していくだけでなく、いかに充実しながら縮小していくか（縮充）を実践例から学ぶことが出来た。又、とても厳しい財政状況が続く中で従来会計と公会計を比較する事で減価償却費と人件費が今後の事業別予算書に欠けている事を理解出来た事も今後の財政審議や政策提言に生かせると感じました。

## 公共施設マネジメントと 公会計改革 in 東京

10/  
17.木

10:00～12:30

### 財政問題としての 公共施設 マネジメント

- ・面積縮減の目標設定だけではミスリード
- ・「総論賛成各論反対」は突破できる
- ・財政破綻を回避するためのマネジメント

14:00～16:30

### 公共施設マネジメント から始まる 本格的行政改革

- ・公会計改革で、見えた膨大な維持管理費
- ・公共施設は使われていなかった
- ・民間資金・ノウハウの徹底活用

10/  
18.金

10:00～12:30

### 指定管理者制度で 「稼ぐ施設」の 実現

- ・誤解だった「指定管理者制度は全部を委託」
- ・指定管理料ゼロも可能に
- ・間違いだらけのリスク分担と評価

14:00～16:30

### 公会計改革による 自治体「経営」

- ・「カネ」はなくとも「資産」で経営
- ・フルコストが見えれば、「改革」が見える
- ・決算重視と成果指標の設定

#### 講師紹介

#### 南 学

東洋大学経済学研究科公民連携専攻客員教授。三重県政策アドバイザー(行財政改革専門委員会委員)、さいたま市公共施設再配置検討委員会委員、鶴ヶ島市公共施設再編計画策定委員会委員、習志野市新庁舎建設基本構想策定市民委員会委員長、富浦市公共施設マネジメント委員会委員長、横須賀市公共施設配置検討委員会委員長、所沢市総合計画審議会委員長、八千代市公共施設専門委員会委員、おじ外野町行政改革推進委員会委員長。

東洋大学卒業後、横浜市役所に入職。環境事業部、経済局、総務局、市立大学事務局、市長室、企画局を歴任。2000年から静岡文化芸術大学助教授。2002年から横浜市教員。2004年から横田外語大学教長。2005年から横浜市立大学理事兼務。2011年より神奈川大学人間科学部特任教授を兼任。現職。自治体行政サービスのABC分析で先駆的な研究を公表。著書に『自治体アドバイシングの事業者評価』『行政経営革命』『自治体ABCによるコスト把握』等。論文、報告書に『公共施設マネジメント』(『地方財務』連載中)等。



# 令和元年度政務活動費領収書等貼付用紙

整理番号

17

|        |   |                 |                  |
|--------|---|-----------------|------------------|
| 会派名    | いせさき未来                                    | 議員氏名            | 馬庭 充裕            |
| 支出年月日  | 令和元年10月25日(第3四半期)                         | 支出額             | 23,280 円         |
| 按分した場合 | (金額) 円 × (按分率) % =                        |                 | 円                |
| 使途区分   | 1. 調査研究費 2. 研修会議費<br>⑤. 広報広聴費 6. 要請・陳情活動費 | 3. 資料作成費 7. 人件費 | 4. 資料購入費 8. 事務所費 |
| 備考     | いせさき未来会報第6号(4,500部)及びコンビニ手数料              |                 |                  |

◎貼付欄 (領収書等は、重なりや折れがないように貼付する。)

セブン-イレブン  
伊勢崎安堀町ノ店  
群馬県伊勢崎市安堀町1903-3

電話: 0270-21-5200 レジ#2

2019年10月25日(金) 10:59 費014

イターネット決済払込領収書

お客様控

いせさき未来会長馬庭充裕 様

¥23,280-

払込先名 印刷通販プリントパック  
(ペリトランス(3G))

お客様用連絡先  
0120-977-920、pac@printpac.co.jp

払込票番号  
7204-15316-5569

2019年10月25日



- 商品・サービス等の提供方法は払込先より案内されております。(この領収書が必要になる場合もあります。)
- 注文内容についてのお問合せや変更・取消・返品・返金等は、上記、お客様用連絡先にお問合せ下さい。
- 本票を保管頂く場合は、印刷面を内側に折り、保管をお願い致

印刷代 23,010円 + 手数料 270円  
= 23,280円 (対象経費)

## コンビニ決済取引結果

| 決済番号          | お支払い店舗 | 弊社へのお問合せ番号    | 登録者様   | お電話番号       | 商品ID一覧      | お支払い合計金額 |
|---------------|--------|---------------|--------|-------------|-------------|----------|
| 7204153165569 | 田      | PAC-CVS184609 | いせさき未来 | 09078363135 | PAC21095910 | 23,280円  |

# 請求書

2019年10月09日

いせさき未来 御中

平素は格別のお引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。  
ご依頼いただきました件、次の通り御請求申し上げます。  
何卒よろしくお願ひ申し上げます

株式会社プリントパック

〒617-0003

京都府向日市森本町野田3号

TEL 0120-977-920

FAX 075-935-6890

お支払条件 コンビニ決済

納品場所 ご指定場所

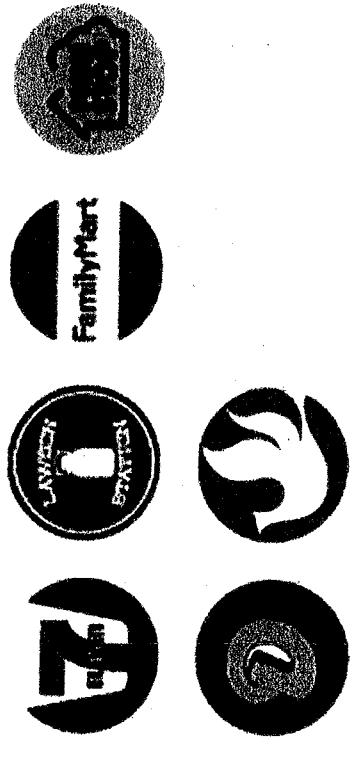
御請求金額 23,010円（税込）

納品期日 4営業日

| ご注文番号       | 内 容   | 数量 | 単 価    | 金 額    |
|-------------|---|----|--------|--------|
| PAC21095910 | 品名：いせさき未来 会報第6号<br>B4 / 両面4色 / コート90 / 4,500部 /<br>加工1：DM折り<br>加工2： | 1  | 23,010 | 23,010 |
| 合 計         |   |    |        | 23,010 |

特記事項

## ご利用いただけるコンビニ・お支払い方法



- ・セブン-イレブン
- ・ファミリーマート
- ・ローソン・ミニストップ
- ・セイコーマート
- ・ディイリーヤマザキ

## お支払い手数料

コンビニ決済は、30万円未満であれば一度に複数件の商品代金をまとめてお支払いいただけます。

| お支払い金額(※)       | 手数料    |
|-----------------|--------|
| 1円～10,000円      | 195円   |
| 10,001円～30,000円 | 270円 ✓ |

# 令和元年度政務活動費領収書等貼付用紙

整理番号

18

|        |  |            |         |
|--------|--|------------|---------|
| 会派名    | いせさき未来   | 議員氏名       | 馬庭充裕    |
| 支出年月日  | 令和元年10月25日(第3四半期)  | 支出額        | 3,350 円 |
| 按分した場合 | (金額) 円 × (按分率) = 円   |            |         |
| 使途区分   | 1. 調査研究費 2. 研修会議費 3. 資料作成費<br>5. 広報広聴費 6. 要請・陳情活動費 7. 人件費<br>8. 事務所費 | (4.) 資料購入費 |         |
| 備考     | 上毛新聞 10月   |            |         |

## ◎貼付欄 (領収書等は、重なりや折れがないように貼付する。)

領收証 2019年10月分

お名前 いせさき未来 会長馬庭充裕  
ご住所

領収額 ¥3,350-

8% (総額3,350 内消費税248)  
10% (総額0 内消費税0)

\*は軽減税率対象品目



| 銘柄     | 部数 | 金額    | 摘要 |
|--------|----|-------|----|
| ※ 上毛新聞 | 1  | 3,350 |    |

上記の通り領収致しました。 1年10月25日

有限会社 亀屋新聞舗  
伊勢崎市今泉町2丁目947-13  
電話 (24)2662(代)



令和元年度政務活動費領収書等貼付用紙

整理番号

20

|        |  |      |         |
|--------|--|------|---------|
| 会派名    | いせさき未来   | 議員氏名 | 馬庭充裕    |
| 支出年月日  | 令和元年11月25日(第3四半期)  | 支出額  | 3,350 円 |
| 按分した場合 | (金額) 円 × (按分率) = 円   |      |         |
| 使途区分   | 1. 調査研究費 2. 研修会議費 3. 資料作成費 4. 資料購入費<br>5. 広報広聴費 6. 要請・陳情活動費 7. 人件費 8. 事務所費 |      |         |
| 備考     | 上毛新聞 11月分  |      |         |

◎貼付欄 (領収書等は、重なりや折れがないように貼付する。)

領收証 2019年11月分

お名前  
ご住所

いせさき未来

会長馬庭充裕

新毎  
聞日

領収額 ￥3,350-

8% (総額3,350 内消費税248)  
10% (総額0 内消費税0)

\*は軽減税率対象品目

| 銘柄     | 部数 | 金額    | 摘要 |
|--------|----|-------|----|
| * 上毛新聞 | 1  | 3,350 |    |

上記の通り領収致しました。

R1年11月25日

有限会社 亀屋新聞舗  
伊勢崎市今泉町2丁目947-13  
電話 (24)2662(代)

領  
収  
印

# 令和元年度政務活動費領収書等貼付用紙

整理番号 21

|        |   |      |         |
|--------|---|------|---------|
| 会派名    | いせさき未来  | 議員氏名 | 馬庭充裕    |
| 支出年月日  | 令和元年12月25日(第3四半期)   | 支出額  | 3,350 円 |
| 按分した場合 | (金額) 円 × (按分率) = 円  |      |         |
| 使途区分   | 1. 調査研究費 2. 研修会議費 3. 資料作成費<br>5. 広報広聴費 6. 要請・陳情活動費 7. 人件費 8. 事務所費 |      | ④ 資料購入費 |
| 備考     | 上毛新聞 12月分   |      |         |

◎貼付欄 (領収書等は、重なりや折れがないように貼付する。)

領收証 2019年12月分

お名前 いせさき未来 会長馬庭充裕 新毎日

ご住所

領收額 ￥3,350- 8% (総額3,350 内消費税248)  
10%の道徳課税(内消費税0) 年月日

※は軽減税率対象品目

| 銘柄     | 部数 | 金額    | 摘要 |
|--------|----|-------|----|
| ※ 上毛新聞 | 1  | 3,350 |    |

上記の通り領收致しました。 R1年12月25日 領收印

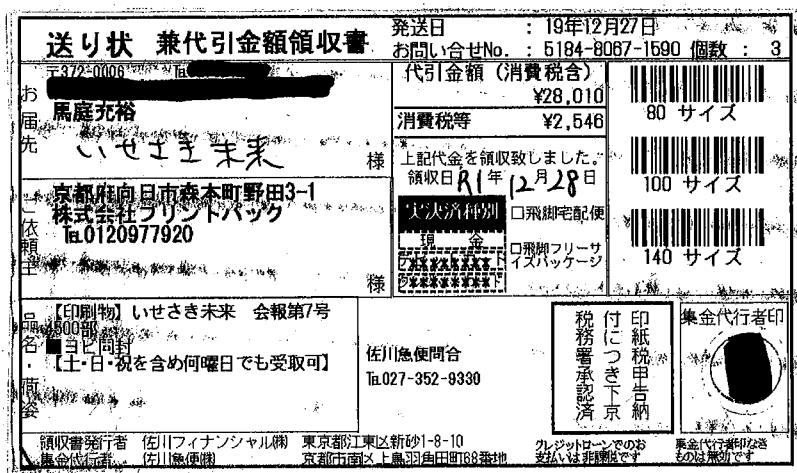
毎日新聞社 伊勢崎市今泉町2丁目947-13  
上毛新聞社 伊勢崎市今泉町2丁目947-13  
日本経済新聞社 伊勢崎市今泉町2丁目947-13  
産経新聞社 伊勢崎市今泉町2丁目947-13  
スボーツニッポン 伊勢崎市今泉町2丁目947-13  
産経新聞社 伊勢崎市今泉町2丁目947-13

# 令和元年度政務活動費領収書等貼付用紙

整理番号  
22

|        |  |      |          |
|--------|--|------|----------|
| 会派名    | いせさき未来   | 議員氏名 | 馬庭 充裕    |
| 支出年月日  | 令和元年12月28日(第3四半期)  | 支出額  | 28,010 円 |
| 按分した場合 | (金額) 円 × (按分率) % =   |      | 円        |
| 使途区分   | 1. 調査研究費 2. 研修会議費 3. 資料作成費 4. 資料購入費<br>⑤. 広報広聴費 6. 要請・陳情活動費 7. 人件費 8. 事務所費 |      |          |
| 備考     | いせさき未来会報第7号(4,500部)  |      |          |

◎貼付欄 (領収書等は、重なりや折れがないように貼付する。)



# 請求書

2019年12月24日

いせさき未来 御中

平素は格別のお引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。  
ご依頼いただきました件、次の通り御請求申し上げます。  
何卒よろしくお願ひ申し上げます

お支払条件 代金引換（後払）

納品場所 ご指定場所

御請求金額 28,010円（税込）

納品期日 2営業日

株式会社プリントパック

〒617-0003

京都府向日市森本町野田324

TEL 0120-977-920

FAX 075-935-6890

| ご注文番号       | 内 容   | 数量 | 単 価    | 金 額    |
|-------------|---|----|--------|--------|
| PAC21937303 | 品名：いせさき未来 会報第7号<br>B4 / 両面4色 / コート90 / 4,500部 /<br>加工1：DM折り<br>加工2：<br><br>代引き手数料 | 1  | 27,570 | 27,570 |
|             |   |    |        | 440    |
| 合 計         |   |    |        | 28,010 |

## 特記事項

代引き手数料はお客様にご負担いただく形となります。  
商品到着時に運送会社様へお支払いくださいませ。